

2004年3月期 決算概要



2004年 5月26日

株式会社日本ユニパックホールディング



I. 2004年3月期 連結決算 (2003年4月1日～2004年3月31日)

- (1) 概況
- (2) 業績
- (3) 経常利益増減益要因
- (4) 特別損益内訳
- (5) 貸借対照表
- (6) キャッシュフロー

II. 2005年3月期 連結業績見通し (2004年4月1日～2005年3月31日)

- (1) 概況
- (2) 業績
- (3) 経常利益増減益要因
- (4) グループの主要指標

紙パ業界

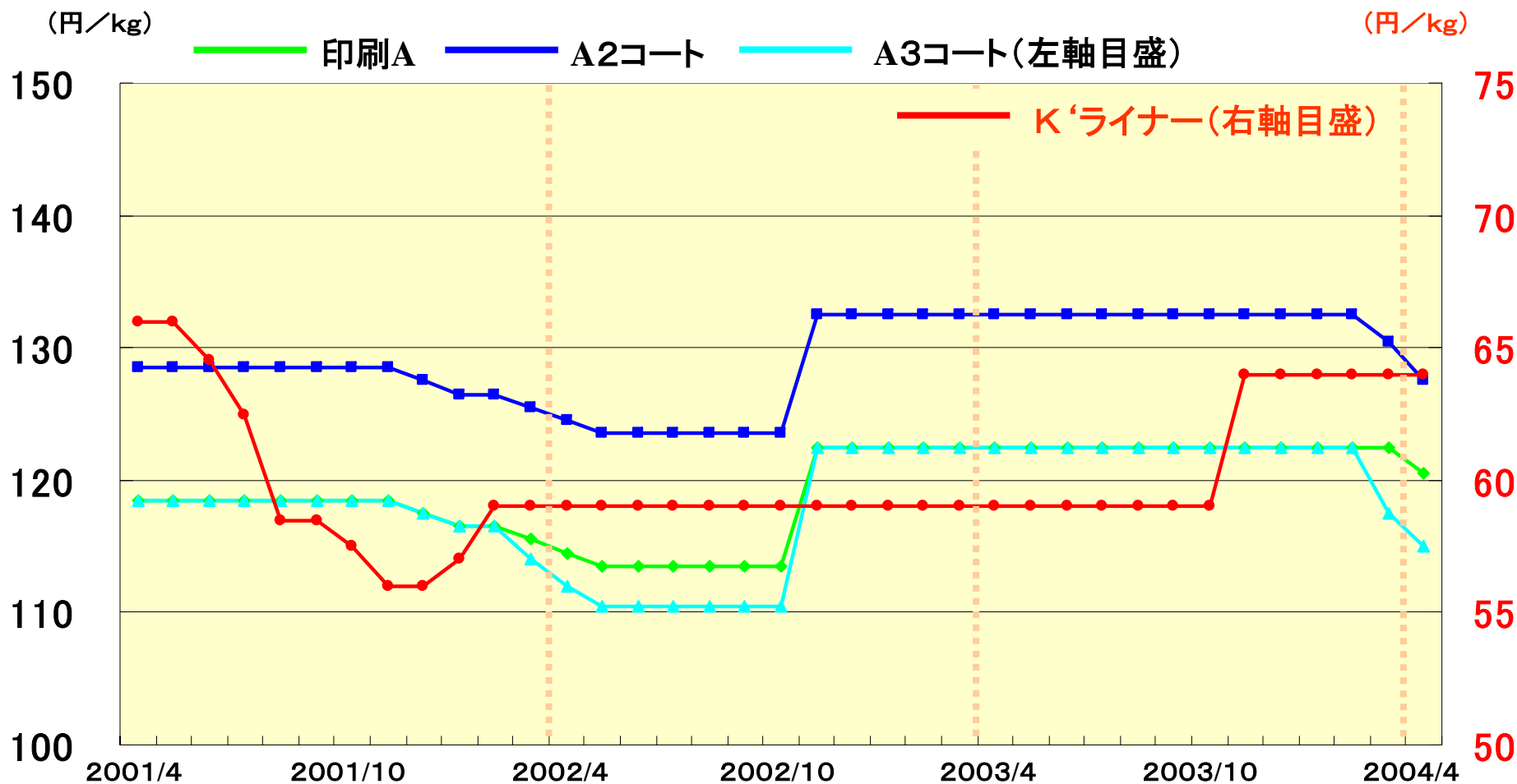
2003年4月－2004年3月品種別国内出荷高

	国内出荷高(千トン)	前年同期比
新聞巻取紙	3,348	1.0%
非塗工印刷用紙	2,614	▲2.1%
塗工印刷用紙 ※	5,961	▲1.0%
情報用紙	1,632	▲0.3%
その他の紙(包装・衛生・雑種紙等)	3,933	▲2.2%
紙計	17,488	▲1.0%
板紙計	11,888	0.3%
紙・板紙計	29,376	▲0.5%

※ 塗工印刷には微塗工紙を含む。 出所：日本製紙連合会

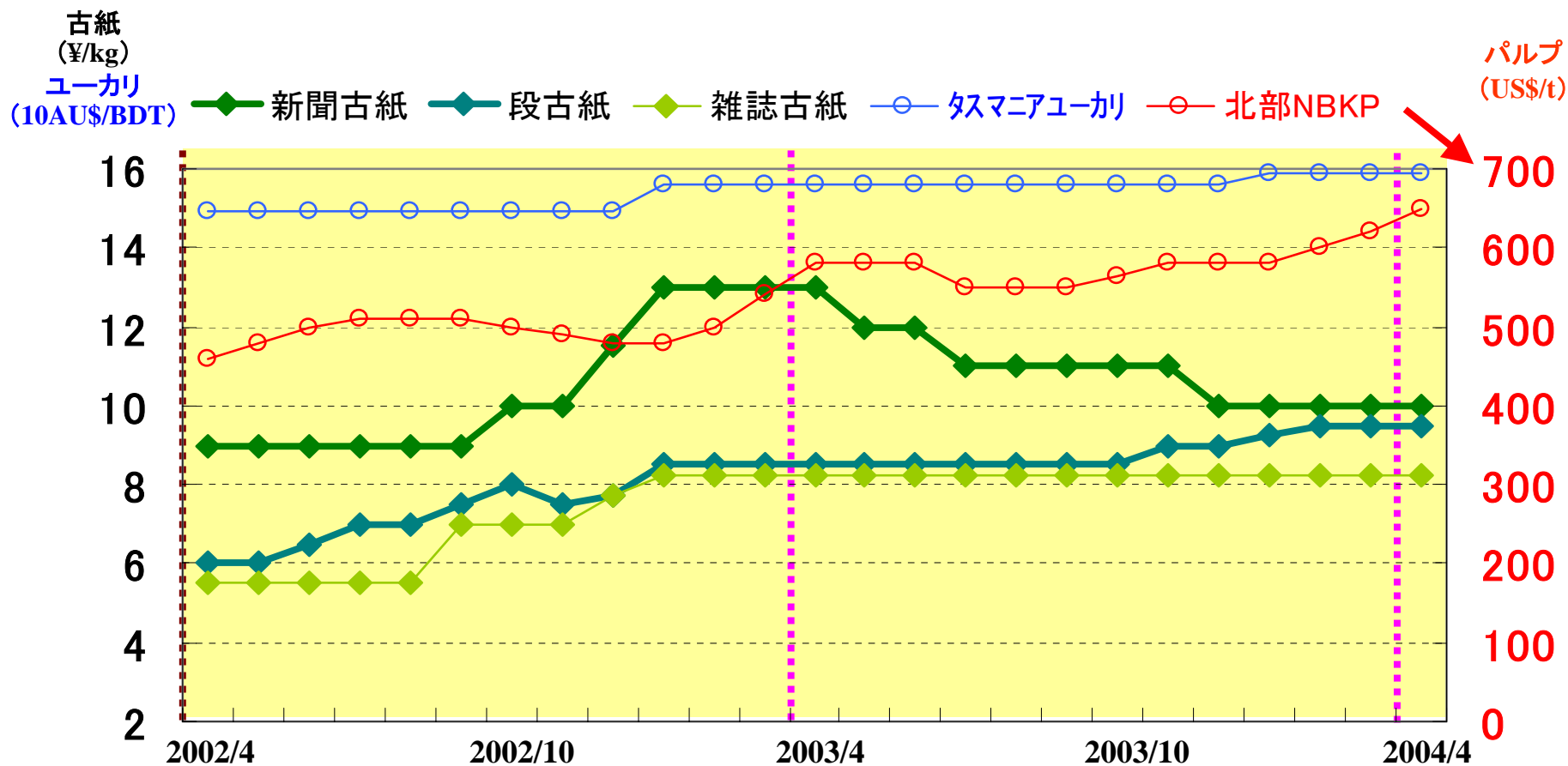
紙パ業界

洋紙・板紙の価格動向(2001年4月~2004年4月)



紙パ業界

古紙、チップ、パルプ の価格動向
(2002年4月~2004年4月)



新体制のスタートと事業再構築の徹底推進

- 2003年 4月 : 新生「**日本製紙**」「**日本大昭和板紙**」が営業を開始
: グループ第一次中期経営計画(2003-05年度)スタート
- 9月 : 浙江景興日紙有限公司設立(上海近郊で中芯原紙を生産)
: 抄紙機3台を停機(小松島2号機、白老5号機、伏木3号機)
- 10月 : 日板パッケージを発足(段ボール事業再編)
: グループCSR(企業の社会的責任)推進体制を発足
- 12月 : 中国における飲料用紙容器合弁事業契約締結
: 承德帝賢との合弁事業合意書締結(北京圏で印刷用紙生産)
- 2004年 3月 : グループ行動憲章、行動規範制定
: 抄紙機3台を停機(白老1号機、2号機、富士10号機)

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	完工 (実績)
日本製紙	八代	ECF漂白化(Elementary Chlorine-Free)	29	'03/ 5月
	岩沼	新聞用DIP-3新設(250t/日)	32	'03/ 7月
日本大昭和板紙	東北	PS焼却発電設備設置	43	'03/10月

連結業績

(単位:億円)	2003/3	2004/3	差異
<売上高>	11,655	11,926	272
<営業利益>	505	557	52
<経常利益>	397	507	110
<当期利益>	49	243	194

(千トン)	2003/3実績 (A)	2004/3実績 (B)	差 (B) ÷ (A)
(国内洋紙平均価格: 円/kg) ※	(108.5)	(107.3)	(▲1.1%)
新聞用紙	1,368	1,361	▲0.5%
非塗工紙	787	756	▲4.0%
塗工紙	1,791	1,848	3.2%
情報用紙	661	669	1.3%
包装・雑種紙他	643	650	1.1%
国内洋紙計	5,251	5,284	0.6%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	480	502	4.6%
洋紙合計	5,730	5,786	1.0%
(国内板紙平均価格: 円/kg)	(50.0)	(52.3)	(4.6%)
段ボール原紙	1,490	1,423	▲4.5%
紙器用板紙他	432	411	▲5.0%
国内板紙計	1,922	1,834	▲4.6%
板紙輸出	51	41	▲19.9%
板紙合計	1,973	1,875	▲5.0%
紙・板紙合計	7,704	7,661	▲0.6%

※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

(億円)

	売上高		営業利益		コメント
	2003/3 実績※1	2004/3 実績	2003/3 実績	2004/3 実績	
紙パルプ事業	8,973	8,962	399	430	
洋紙他※2	7,274	7,334	366	361	原燃料コスト急騰、高止まり。輸入紙増加が数量・売価に影響。
板紙※3	1,099	996	13	39	価格修正実現。
家庭紙	601	631	20	30	上期販売好調も、下期市況悪化。
紙関連事業※4 (紙容器、化成品等)	982	1,237	49	50	紙容器は健康志向飲料が好調に推移。段ボール(新規連結)は値上げ実現。
木材・建材・土木 関連事業	907	935	10	26	原木高も低ホルマリン建材好調。
その他事業 (飲料、物流等)	792	793	47	51	運送業、レジャーなどが堅調に推移。
合計	11,655	11,926	505	557	

※1 2003/3実績売上数値は、事業再編影響を考慮し、比較用に2004/3ベースに数値の補正を実施している為、短信数値とは一致しない。
(洋紙他+189億円、板紙▲189億円、木材・建材・土木関連▲33億円、その他+33億円)

※2 2004/3実績の売上金額には、新規連結影響による売上増加を含む。

※3 2004/3実績の売上金額には、新規連結影響に伴うグループ内部販売の増加による売上金額減少を含む。

※4 2004/3実績には、新たに段ボール加工事業を含む(売上262億円、営業利益▲5億円)。

2003/3実績 対 2004/3実績比較

経常利益増益 110億円 (397億円 → 507億円)
営業利益増益 52億円 (505億円 → 557億円)



	<u>2003/3</u>	<u>2004/3</u>	
経常利益	397	507	(億円)
特別利益	110	101	
厚生年金代行返上益	—	54	
固定資産売却益	85	14	
その他	25	32	
特別損失	426	242	
特別退職金	—	71	
固定資産除却損	99	51	
貸倒引当金繰入額	190	13	
株式評価損	76	7	
事業再編損失他	61	100	
税金費用	▲2	▲109	
少数株主損益	▲30	▲14	
当期利益	49	243	

(億円)

貸借対照表

	'03/3末	'04/3末	差異	連結範囲 影響除外	コメント
現預金	355	218	▲ 137	▲ 148	手元金削減 (CMS効果)
受取手形・売掛金	2,433	2,608	175	114	
棚卸資産	1,382	1,346	▲ 36	▲ 54	
その他流動資産	385	594	209	218	
有形・無形固定資産	9,693	9,445	▲ 248	▲ 354	設備投資 574、減価償却費 ▲813他
投資その他資産	2,054	2,162	108	92	
資産計	16,301	16,374	73	▲ 132	
有利子負債	8,513	8,423	▲ 90	▲ 233	支払サイト短縮 224、実質減少 ▲467
その他負債	3,446	3,429	▲ 17	▲ 114	
少数株主持分	260	226	▲ 34	▲ 34	
株主資本	4,082	4,296	214	249	

(億円)

項目	前期	今期	増減	コメント
営業活動によるCF	1,287	871	▲ 416	① 税引前利益は大幅増 ② 合併に伴う旧大昭和製紙(株)の支払サイト短縮影響(▲224)他 ③ 税金費用の増加及び前期貸倒引当繰入他
税引前利益	81	365	① 285	
減価償却・連結調整償却	857	836	▲ 21	
運転資金増減	46	▲ 348	② ▲ 394	
その他	303	18	③ ▲ 285	
投資活動によるCF	▲ 719	▲ 727	▲ 8	④ 設備投資額が減少 ⑤ 前期は日本板紙(株)の亀有工場売却収入あり
固定資産取得	▲ 772	▲ 663	④ 109	
固定資産の売却	146	24	⑤ ▲ 122	
その他	▲ 93	▲ 88	5	
フリーCF	568	144	▲ 424	
財務活動によるCF	▲ 549	▲ 288	261	⑥ 今期: 余剰資金圧縮等により有利子負債が減少
借入金増減	▲ 482	▲ 139	⑥ 343	
支払配当金	▲ 48	▲ 135	▲ 87	
その他	▲ 19	▲ 14	5	
為替換算差額	▲ 3	8	11	
現金及び現金同等物残高	352	216	▲ 136	CMS導入等により余剰資金減

2005年3月期のトピックス


- 2004年 4月 : 三島製紙へ大竹紙業の株式譲渡
 : 都島工場跡地の譲渡
- 6月 : 富士写真フィルム(株)からのノーカーボン紙受託生産開始予定
- 7月 : 中国現地法人「日紙国際貿易」設立予定
- 10月 : 持ち株会社名を「**日本製紙グループ本社**」に変更予定
 : 日本製紙機能材料本部を日本製紙ケミカルに統合予定
 : 釧路IPP事業営業開始予定
 : 景興日紙中芯原紙抄紙機運転開始予定

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	運転開始 (見込み)
日本 製紙	勿来	ノーカーボン紙受託生産対策(コーター移設)	24	'04/ 6月
		サーマルリサイクル発電設備設置	38	'04/ 9月
	釧路	電力卸供給設備設置	98	'04/10月
	白老	3KP増産対策	13	'04/11月

1. 販売見通し(国内)

- 洋紙: ①数量=前年比横ばいを想定 ②価格=現状維持
- 板紙: ①数量=前年比プラスを想定 ②価格=現状維持

2. 原燃料価格見通し

- 石炭:  大幅上昇
- チップ:  上昇
- C重油:  上昇
- パルプ:  上昇
- 古紙:  横ばい

外部環境

- 内需伸び: 紙 +0.6%
(連合会暦年見通し) 板紙 +0.8%
- 為替: 1US\$ = 110円
1AU\$ = 80円

日本ユニパックホールディング[○]連結業績見通し

(単位:億円)	2004年3月期 実績	2005年3月期 見通し	差異
<売上高>	11,926	11,950	24
<営業利益>	557	700	143
<経常利益>	507	650	143
<当期利益>	243	280	37

(千トン)	2004/3実績 (A)	2005/3見通し (B)	差 (B) ÷ (A)
(国内洋紙平均価格: 円/kg) ※	(107.3)	(107.0)	(▲0.3%)
新聞用紙	1,361	1,369	0.6%
非塗工紙	756	733	▲3.0%
塗工紙	1,848	1,867	1.0%
情報用紙	669	680	1.5%
包装・雑種紙他	650	637	▲2.0%
国内洋紙計	5,284	5,286	0.0%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	502	430	▲14.4%
洋紙合計	5,786	5,715	▲1.2%
(国内板紙平均価格: 円/kg)	(52.3)	(53.8)	(2.9%)
段ボール原紙	1,423	1,459	2.5%
紙器用板紙他	411	418	1.8%
国内板紙計	1,834	1,877	2.3%
板紙輸出	41	39	▲5.2%
板紙合計	1,875	1,915	2.2%
紙・板紙合計	7,661	7,631	▲0.4%

※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

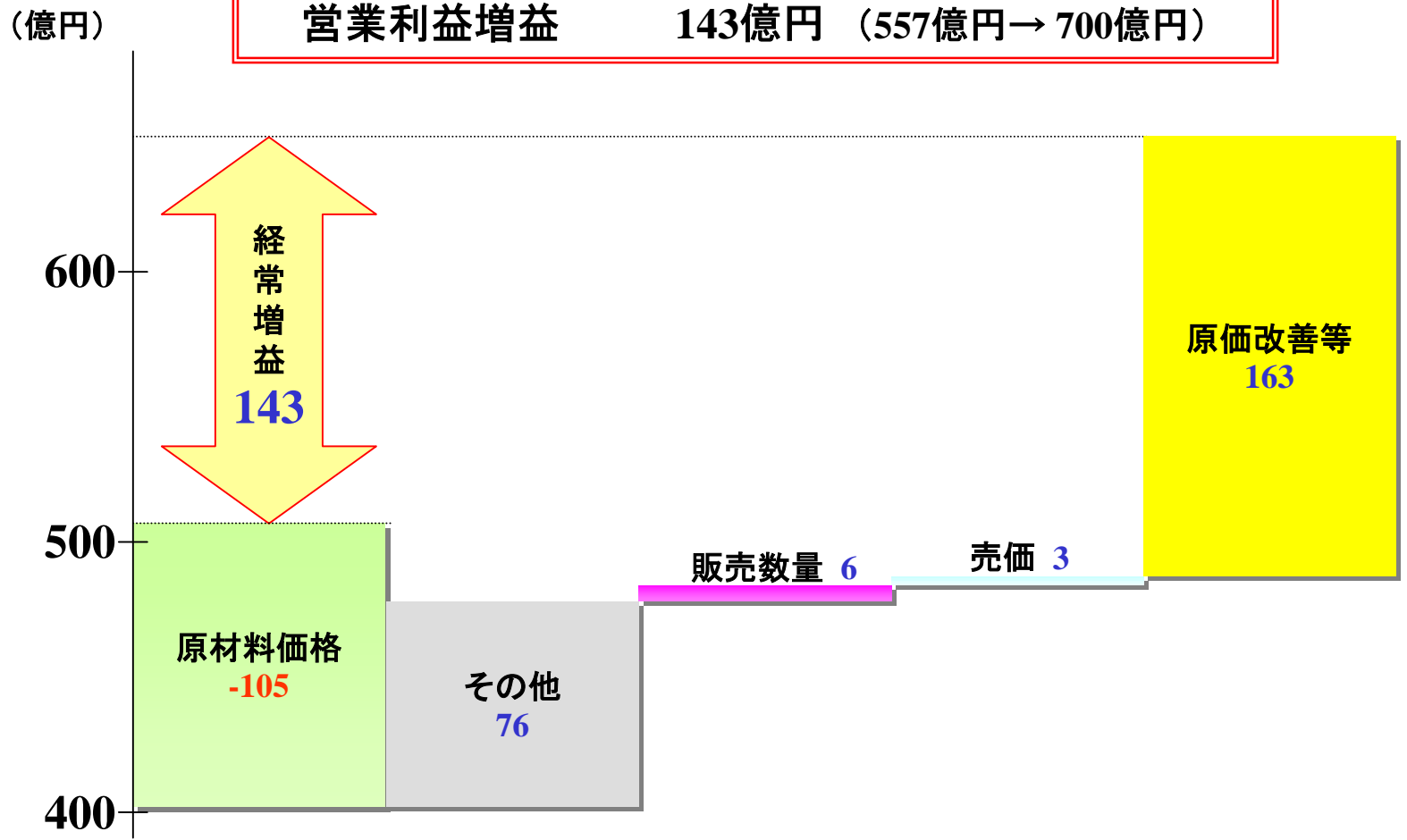
(億円)

	売上高		営業利益		コメント
	2004/3 実績	2005/3 見込み	2004/3 実績	2005/3 見込み	
紙パルプ事業	8,962	8,973	430	541	
洋紙他※	7,334	7,306	361	412	原燃料価格はさらに高騰。自助努力のコストダウンで増益。
板紙	996	1,016	39	96	価格修正の通年寄与。
家庭紙	631	652	30	33	新製品投入、傾斜生産・人員合理化を推進。
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	1,237	1,239	50	76	紙容器、化成品の拡販とコストダウン。段ボール価格修正が寄与。
木材・建材・土木 関連事業	935	981	26	31	住宅ローン減税延長で引き続き、堅調な着工件数を見込む。
その他事業 (飲料、物流等)	793	757	51	53	コストダウン推進。
合計	11,926	11,950	557	700	

※「洋紙他」の2005/3見込みの売上金額には、新規連結影響による売上増減を含む。

2004/3実績 対 2005/3見通し比較

経常利益増益 143億円 (507億円 → 650億円)
 営業利益増益 143億円 (557億円 → 700億円)



	02/3月期 実績	03/3月期 実績	04/3月期 実績	05/3月期 見通し
ROE: 株主資本当期純利益率	▲0.2%	1.2%	5.8%	6.4%
売上高経常利益率	2.4%	3.4%	4.2%	5.4%
D/Eレシオ: 負債資本比率	2.1倍	2.0倍	1.9倍	1.7倍
洋紙稼働率(暦日数)	81%	86%	87%	89%
板紙稼働率(暦日数)	78%	79%	85%	89%
設備投資額(億円)	696	769	574	670
減価償却費(億円)	871	832	813	754
有利子負債残高(億円)	9,033	8,513	8,423	7,850
正規従業員数(人)	17,153	15,662	15,241	14,497

※04/3月末の有利子負債は、連結範囲見直し影響143億円、旧大昭和支払条件見直し影響224億円、計367億円の増加を含む。

※04/3月末の従業員数は、連結範囲見直し影響による正規従業員348人増を含む。

※05/3月末の従業員数は、大竹紙業譲渡影響による正規従業員294人減を含む。

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
また当資料の無断掲載はこれを禁じます。

(株)日本ユニパックホールディング